

# 吾妻山火山噴火緊急減災対策砂防計画の概要

## 吾妻山火山噴火緊急減災対策砂防計画の構成

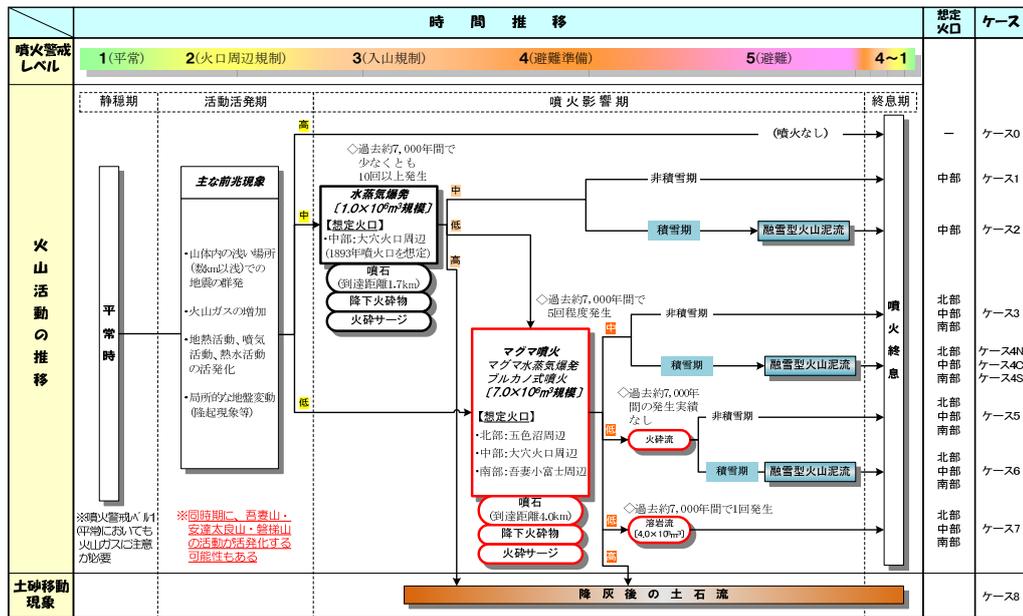
・計画の目的や前提条件等を記載した【基礎事項編】と緊急時に実施する減災対策について記載した【計画編】に分けてとりまとめています。

- 【基礎事項編】 ● 噴火シナリオ ● 想定される影響範囲  
 【計画編】 ● 対策方針 ● 緊急ハード・ソフト対策 ● 平常時からの準備事項

### 【基礎事項編】

#### ● 噴火シナリオ

- ・噴火シナリオとは、過去の噴火形態から対象火山で発生することが想定される現象とその規模、時間推移をまとめたものです。
- ・吾妻山では過去約 7,000 年間の活動実績を整理し、噴火シナリオを作成しました。(計画 P.基-18) (噴火シナリオの作成に際し、気象庁の噴火警戒レベルと対応するよう考慮しています)

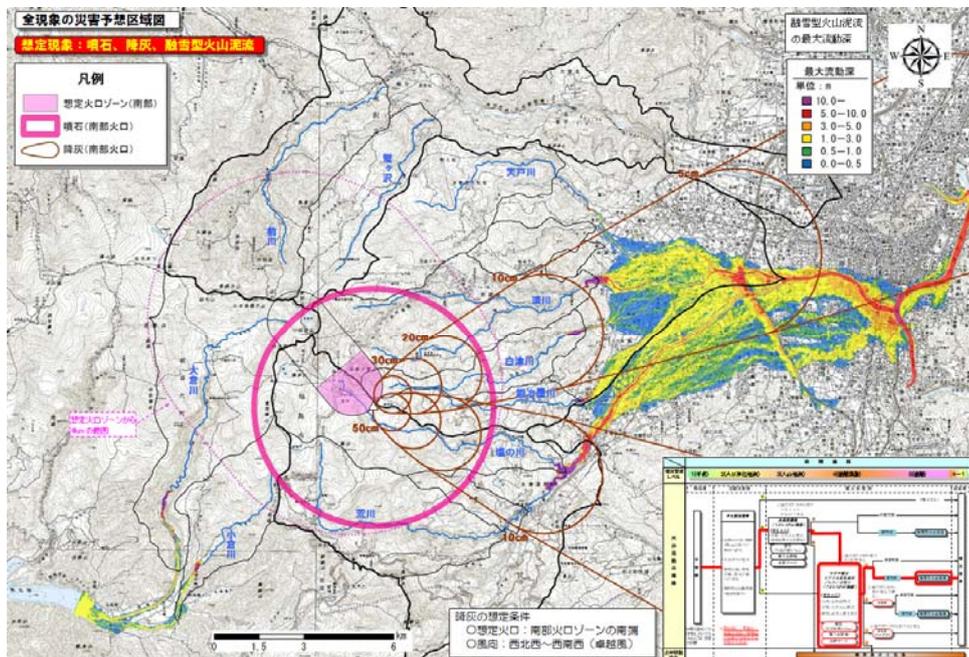


・各現象の推移の可能性(高・中・低)は、「主な前兆現象」、「水蒸気爆発」、「マグマ噴火」の各段階において、相対的に示している。  
 ・ケース4(N,S)は、火山のできる位置によって下流(市街地など)で想定される影響範囲が変わるため、想定した北部、中部、南部の火山ごとに火山災害予想区域を示している。

#### ● 想定される影響範囲

#### 吾妻山の噴火シナリオ

- ・過去約 7,000 年間に発生した現象に基づき設定した噴火シナリオより、想定される影響範囲について全 11 ケースの災害予想区域図を作成しました。(吾妻山火山災害予想区域図集 抜粋版 P.3)



吾妻山火山災害予想区域図の例(ケース4S:積雪期のマグマ噴火:南部噴火エリア)

## 【計画編】

### ● 対策方針

- ・ 想定した噴火シナリオのうち、限られた期間（仮に6ヶ月程度を想定）に緊急減災対策を実施するケースを抽出し、対策開始のタイミングや実施事項、対策実施期間等を決定しました。（計画 P.計-1）

### ● 緊急ハード・ソフト対策

- ・ 緊急ハード対策は、吾妻山の噴火時に想定される「融雪型火山泥流」と「降灰後の土石流」に対して、流出土砂の捕捉、導流等を目的として可能な限り実施します。（計画 P.計-5）
- ・ 緊急ソフト対策は、避難対策支援のための情報提供、火山監視観測機器の緊急的な整備、リアルタイムハザードマップによる危険区域の想定、光ケーブルなどの情報通信網の整備、火山噴火時の緊急調査を行います。（計画 P.計-22）

#### 緊急ハード対策の実施事例



緊急除石（霧島山（新燃岳））



遠隔操作による堰堤施工（三宅島）



コンクリートブロックで嵩上げ（三宅島）



大型土嚢を配置した仮導流堤（三宅島）

#### 緊急ソフト対策の実施事例



ヘリによる調査（有珠山）



降灰量の調査（霧島山（新燃岳））



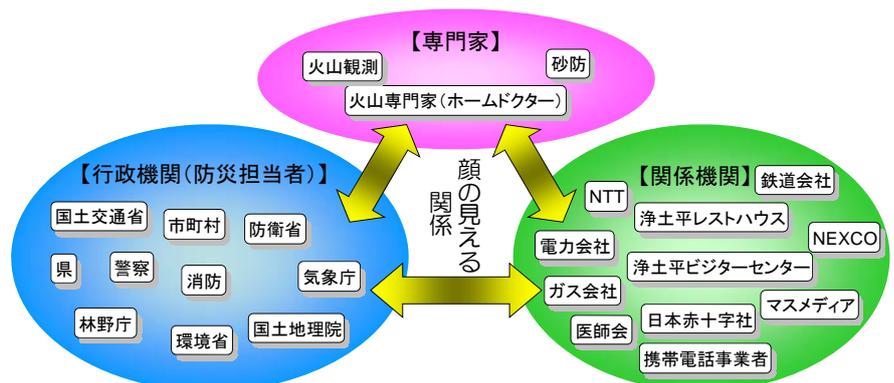
ワイヤセンサー 監視カメラ  
監視・観測機器の整備（霧島山（新燃岳））

### ● 平常時からの準備事項

- ・ 緊急減災対策を速やかに実施するために、平常時から各関係機関との調整や資機材の備蓄、火山防災ステーションの整備などを行います。（計画 P.計-35）
- ・ 地域の防災力、防災意識の向上のため、防災教育の支援等を推進するとともに、緊急時に関係機関や専門家、行政機関（防災担当者）のスムーズな連携・調整が図れるよう、『顔の見える関係』づくりを進めていきます。（計画 P.計-42～43）



防災教育の支援の例  
（磐梯山噴火記念館による出前授業）



平常時からの『顔の見える関係』づくり